

ライフあけぼの

平成29年新春1月号

発行所 一般財団法人 榛名荘
介護老人保健施設 あけぼの苑 No.63



新年の御挨拶

あけぼの苑 家族の会会長 小材 敏雄

新年明けましておめでとうございます。

あけぼの苑利用者様及び家族の皆様、あけぼの苑スタッフの皆様におかれましては、希望に満ちた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。日頃より家族の会の活動にご協力を頂き、有難う御座います。本年もよろしくお願い致します。

開催された主な行事

四月三日 (日) 榛名荘祭りに参加

七月二十三日 (土) からだメンテナンスカフェを開催
(握力テスト、口腔相談など)

十二月十七日 (土) 第四回あけぼのカフェを開催

各行事開催にあたっては、あけぼの苑スタッフ皆様の多大なご協力を頂いております。第四回あけぼのカフェでは、清遊工房様のご指導を頂き、写真を飾るフォトフレーム作りを行いました。童心に帰り、和氣藹々と楽しみながら作る事が出来ました。各人が腕を振るって作った作品は窯で処理と色付けを行い、後日、手元へ戻ってくる予定です。待ち遠しい限りです。

皆様にご協力を頂きながら家族の会の活動を進めて参りましたが、私の任期も残すところ三ヶ月程に成りました。年度末に家族会の総会も予定されておりますので、引き続きご協力の程、よろしくお願い致します。

今年が酉年です。去る(猿)年の嫌な事は忘れて、羽ばたく一年となりますように。最後に成りましたが、皆様のご多幸をお祈りし、新年の挨拶と致します。

昨年十一月、群馬音楽センターで、群馬県老人保健施設大会が開催されました。県内の介護老人保健施設で日頃から取り組んでいる研究や事例等を発表する大会です。今大会のテーマが、「地域包括ケアにおける老健の役割」今後の在宅医療・介護の流れに老健はどう向き合っていくべきか」という事で、発表内容は認知症、精神疾患により、支援が難しい方に対する苑での取り組み・老健がバックアップ機能を果たして、在宅生活を継続している一例を発表してきました。

この一例に関わり、思った事は、医療・介護分野などの様々な専門職種が配置されている老健だからこそ、在宅生活を支援できたのだと思いました。また、スタッフや関連事業所との連携が大切だと改めて感じる事が出来ました。今後も出来る限り住み慣れた地域で暮らせるよう、老健の在宅生活支援・在宅復帰機能の一部を担っていただければと思います。

発表にあたり、こういった事は初めてで、文章構成等不安もありましたが、施設長をはじめ周囲の方々のサポートにより無事発表する事が出来ました。本当にありがとうございました。貴重な体験だったと思います。

大会では様々な事例や取り組みが聞かれ、老健施設は介護・医療の連携拠点として地域の皆様のお役に立てると改めて思いました。



集合写真



発表の様子

介護研究シリーズ1 「介護抵抗」という言葉 本当の意味 最終回

平成28年1月から1年間を通して連載してまいりました「介護研究シリーズ1」は、今回が最終回となります。お読みいただきありがとうございました。

「介護抵抗」の言葉の真意は、「何か」について、追求してきたシリーズ1は、介護提供者側が、日々刻々と変化していく認知症を患ったご利用者さんの心情、生活習慣、嗜好を理解し共感しようと懸命に努力し、時々のご利用者さんの状況に適応した方法にて介護提供を実践してきた事例を通じて言葉の意味を探ったシリーズでした。

介護度認定調査においても表記されている「介護抵抗」という言葉について、この事例において導き出されたものは、「介護抵抗」という行為は介護提供者側がその原因を敢えて作り誘発させている可能性が高いという結論でした。そして、「介護抵抗」と言われていた行動は、介護者側の姿勢を映し出す鏡であり、ご利用者さんの「自尊心を守っていく」という介護者側の姿勢に反応して、「介護者への協力」への行動に変化するものである。ということを確認することが出来たのでした。

介護提供側は、介護を受ける方の困る態度や反応の多くについて、その原因や理由を問わず「介護抵抗」という都合の良い決まり文句で表現する傾向にあるのではないのでしょうか。介護提供者側のコミュニケーション不足、介護を受ける当事者の理解の不足、介護に関する知識や技術未熟、思い込みや勘違い、これらが抵抗や拒否の原因になることを理解し介護を提供していくことが必要です。介護提供者は「介護抵抗」という言葉は介護提供者の行為を正当化させる可能性を秘めているものであり、むしろ「介護を受ける方からのメッセージ」と言い換える必要があると思いませんか？

シリーズ2に… To be continued

就任のご挨拶

就任のご挨拶

西棟看護師長
塚越 依子

九月に内科病棟より老健へ異動になり、十二月から西棟の師長として就任となりました塚越依子です。老健での自分の役割や、知識はまだまだ力不足であり、多くの人たちに助けられている毎日です。

利用者様一人一人が、生きてきた人生を大切に考え、苑での生活が安全に、そして穏やかに過ごせるよう、自立を支援させていただきたいと思っています。

今は利用者様の笑顔に私が励まされている次第ではありますが、コミュニケーションを大切に、風通しの良い職場環境を目指したいと思います。
今後とも皆様のご指導、ご鞭撻をよろしくお願い致します。



新入職員紹介 ① 氏名 ② 職種 ③ 趣味・特技 ④ コメント



- ①丸山祐子
- ②ケアワーカー
- ③映画・音楽鑑賞

④不慣れなことも多く、ご迷惑をお掛けすることもあるかと思ひます。
1日でも早く皆さんの力になるよう精一杯頑張ります。
よろしくお願い致します。



異動

- 川津実穂 あけぼの苑
→あけぼの苑高崎
- 松本桃子 東棟
→西棟
- 田村優衣 ケアワーカー
→支援相談員

ボランティア紹介



榛名文化協会
絵手四季の会の皆様

榛名文化協会
写真部の皆様



榛名文化協会
俳句会の皆様



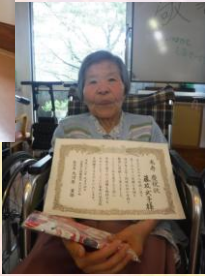
東棟行事紹介

九月 敬老会



九月十四日、日頃から音楽療法で歌や手話、手拍子を交えながらの上毛カルタ読みなど、練習を沢山重ねてきました。その成果を敬老会と言う舞台で披露いたしました。ご利用者様の一生懸命な姿と緊張感が伝わってきて緊張感の中でも終始笑顔が見られ楽しいと言う声も多く聞かれました。

長寿の節目を迎えた方には寿の表彰状と絵タオルをプレゼントさせて頂きました。



十月 ピクニック



十月十二日「かみつけの里」へ、お弁当を持ってピクニックに行ってきました。天気も良く晴れ、綺麗なコスモスも見られました。はにわや古墳周りを散策し気分転換になりました。数人ではありましたが久しぶりに外出され会話もはずみ、笑顔が絶えませんでした。車内では知っている道を通ると「この近くには何々がある」「ここは行ったことがある」など色々お話をして下さいました。



十二月 ドックセラピー



十一月一日、あけぼの苑東棟ホールにてブレイクメンの会の方々が来苑されドックセラピーを行ないました。小型犬から大型犬、様々な種類の犬達と楽しい時間が過ごせご利用者様の方々も笑顔があふれていました。中でもチワワが大人気で「抱っこしたい」「小さくて可愛いね」と会話もはずんでいました。

最後に、色々な芸を見せて頂き「待て」をしているときの姿はとても可愛かったです。



十二月 クリスマス会



十二月十四日、皆様とジングルベルなどのクリスマスソングを合唱し職員からハンドベルの演奏、サンタクロースから膝掛のプレゼントを頂きました。ご利用者様もサンタの服を着たり帽子を被って写真を撮り賑やかなクリスマス会となりました。

また、ご利用者様と一緒に布や綿などで作ったクリスマスツリーを壁に飾りました。



西棟行事紹介

9月



敬老会

敬老会では地域の発展に貢献してきてくださった、ご利用者様皆さまの長寿をお祝いし、表彰式を行いました。100歳を超える方もおり、あたたかい拍手を送られ、皆様とても嬉しそうな表情を浮かべていらっしゃいました。



10月



鼻高の丘ピクニック

天気にも恵まれ、一面に広がる花を前に利用者様の感嘆の声と笑みがこぼれました。「違う季節にも来てみたいね」との声も聞かれ、素敵な時間を過ごすことが出来ました。



11月



運動会

西棟では赤団と白団に分かれ、運動会を開催いたしました。ラジオ体操から始まり、競技は玉入れ・ポールリレー等を行いました。ご利用者様の笑い声や応援の音がホールに響き渡り、活気に溢れた運動会を行うことができました。

12月

クリスマス会

クリスマス会ではサンタさんとトナカイがプレゼントを持ってやってきてくれました。寒い冬に負けないよう、体操を取り入れた歌を唄い、身体が温まった後はお楽しみのクリスマスデザートを美味しくいただきました。



通所行事紹介



九月 敬老会

長寿の表彰と記念品の授与式を行いました。

職員による演劇「大きなカブ」では、カブを抜くシーンに動物のかぶり物をつけた利用者様も参加して頂きました。大きなかけ声でカブを抜く演技にとっても盛り上がり、楽しい一日を過ごすことができました。

今後とも、皆様にお元気で来苑して頂きたいと思っております。



「来年はどこがいいかねえ」「また元氣に行きたいね」と会話も弾み、皆様とても楽しんでいました。

十月 ピクニック



毎年恒例のピクニック行事を今年も無事に行う事ができました。各自それぞれに行きたい所の希望を伺い、気の合うお仲間達とリハビリや社会交流を目的に、買い物・人気のアイス屋さん・鼻高のコスモス・ハツ場ダム・榛名湖などに出掛けました。榛名湖では、ロープウェイに乗りたいと希望があり、何十年かぶりに乗る事ができたとても感動された姿が印象的でした。

十一月 おやつ作り

今も炊事をご自分でやっている方は中心となり、台所での作業は久しぶりという方は昔を思い出し、楽しみながら皆でおやつ作りを行いました。今回のメニューは①野菜スープ②ねぎチヂミ③さつまいものモンブラン風の三種類。

便秘解消に少しでも役立てばと考え、食物繊維を多く含む食材を選びました。



クリスマス会&忘年会を行いました。手話やフラダンス、職員による踊り二種類を利用者様と一緒に行うと、職員を見ながら一生懸命手を動かし踊りを楽しんでいました。今回は厚生会運転手によるギター演奏もあり、大変盛り上がりました。

十二月 忘年会



第4回あけぼのカフェを開催！！

思い立った日が家族記念日・・・陶器フォトフレームをつくろう！！



清遊工房の皆様

去る平成28年12月17日(土)に今回で四回目となる“あけぼのカフェ”を開催致しました。

今回は、今までと趣向を変え、お茶を召し上がりながら、ご家族の皆様と職員とで、高崎市上里見町にある陶芸工房の清遊工房様(左写真)ご指導のもと、ご利用者様との思い出の写真を飾って頂く為のフォトフレーム作りを陶器で作成いたしました。



ご家族の皆様も職員も皆真剣な表情で作品作りに取り組み、和やかな雰囲気の中で、作成が行われました。フォトフレームの作成後、余った粘土で、小皿や小物入れ、コップ等を作成し、ご好評の中、開催する事が出来ました。

参加して下さったご家族の皆様、清遊工房様に改めて感謝申し上げます。

平成29年2月には、家族の会総会がございますので、ご参加の程、宜しくお願い致します。

来年度以降も様々な催し物を企画して参りますので、お楽しみにして下さい。



焼きいれ前の一作品です。

これから二度の焼きいれをして色塗りを行い、完成します。出来上がった作品を次回号に掲載しますので、お楽しみに！！



インフルエンザチェック表

(期間十二月～三月)

重要ポイント(インフルエンザの特徴)

- 地域内でのインフルエンザの特徴
 - 鼻水、咳、くしゃみやみがなく高熱が続く
 - 三十八℃以上の発熱/悪寒
- 要注意ポイント**(インフルエンザの疑い)
- 関節/筋肉痛
 - 頭痛
 - 寝込む
 - 疲労感/倦怠感

- ・ かぜ症状(咳・鼻汁・くしゃみ・喉の炎症)が同時か、やや遅れます。

***症状が現れたらなるべく早く、約四十八時間(二日)以内に医療機関にいきましょう。インフルエンザの増殖を抑える薬があります。**



インフルエンザ

予防のためのお願い

インフルエンザを含めた感染症を予防するために、上記のような症状があった場合には、ご家族様のご面会や、短期利用及び通所利用を、一時休止して頂く場合があります。

上記のような症状が無い場合であっても、ご面会時には、マスクの着用と出入り口に置いてあります消毒液で手の消毒をお願い致します。マスクをせずに咳やくしゃみをする、ウイルスが2メートルから3メートル飛ぶと言われていますので、ご協力をお願い致します。



今後の予定

行事と致しましては、新年会・節分・ひな祭りなどを予定しております。

四月には、榛名荘祭りの開催を予定しておりますので、ご協力をお願い致します。

あけぼの苑 基本方針

- 一 利用者様一人一人の尊厳を守り、自立を支援します
- 二 安心して満足のいくサービスを提供できるよう職員自ら研鑽に努めます
- 三 地域や家庭との連携を密にし、地域福祉のために寄与します。

家族とあけぼの苑を結び一冊の機関紙「ライフあけぼの」発行は年3回です。
気づいた点等ありましたら、何でも結構です。お気軽にご意見をお寄せ下さい。

一般財団法人 榛名荘
介護老人保健施設

あけぼの苑

高崎市巾室田町

22258-1

電話 027

(384) 8612

027

(340) 5011